

## 2 履修登録にあたっての注意事項

### (1) 履修登録の手順

※用意するもの

筆記用具・講義要項（WEBシラバス）・学生生活ハンドブック、履修のてびき（時間割）等

- ① 学生生活ハンドブックの学科別配当科目一覧を開き、まずは自分の学科の配当科目や単位数などの確認をする。
- ② **卒業要件である124単位**を修得することを念頭に入れ、1年間で修得する単位の目安を各自考える。
- ③ 授業の内容や評価方法などの詳細は講義要項（最新情報はWEBシラバス）を確認する。
- ④ 履修のてびき16ページから記載してある学科、学年別時間割を確認する。
- ⑤ 履修のてびきの最終ページにある記入用の授業時間割に自分の該当する「必修科目」を記入する。
- ⑥ 上記⑤の後、空いている時限に自分が履修登録したい「選択必修科目」「選択科目」を記入し、授業時間割を完成させる。
- ⑦ 履修希望科目の開講番号（4桁の数字）を上記⑥で作成した授業時間割の開講曜日・時限欄に記入する。
- ⑧ 履修登録期間（2ページ参照）に、学生ポータルサイトからWEB履修ページへアクセスし、履修登録（入力）を行う。
- ⑨ 履修登録した科目を後で確認できるように必ず書き留めて（WEB履修登録画面のコピーをして）おくこと。

### (2) 履修登録上の注意事項

- ① 以下の科目は自動登録します

自分の学年(正規履修)の必修科目(専門コア科目の必修科目を含む)はすべて自動登録  
※再履修者並びに復学・原級・再入学・転学部転学科及び過去に休学したものは自動登録されませんので、各自で開講番号を確認のうえ履修登録すること

- ② 次のとおり1年間に履修できる単位数を制限する。

◎履修科目(他学科聴講を含む当該学年配当科目および下位学年は配当科目)は年間49単位までとし、学期ごと25単位までが最大履修できる範囲である。

(例：前学期科目を25単位履修する場合、後学期科目は49-25=24で24単位まで履修できる)

- 通年科目(実験、実習、演習など)は単位数を2分し、各学期の登録単位数としてカウントする。
- 集中科目(22ページからの時間割で<集中>に配当されている科目)の単位数は、各学期の登録単位数に加え、年間の単位数としてカウントする。
- 制限単位数を超えて登録すると、システムが無作為に科目を選んで削除するので注意すること。制限を超えて登録した場合は、エラーとして表示されるので超過した単位数に応じて科目を削除すること。
- 登録した科目については履修確認・履修修正期間に必ず確認すること。

◎卒業要件の124単位から対象外となる科目

◎年間の49単位の単位数制限から対象外となる科目

●教職・学術情報課程科目 ●文章表現 ●基礎数学 ●基礎生物 ●基礎化学

- ③ 開講番号の登録を間違えるとエラーとなるか、またはまったく別の科目が登録されてしまうため、履修確認・履修修正期間に必ず確認すること（履修確定後の変更は認められません）。
- ④ 教職・学術情報課程の履修については、ガイダンス・オリエンテーション等の中でアナウンスされる指導教員の指示に従うこと。
- ⑤ 時間割の区分に『教職』、『学術』と表示のある科目はそれぞれ『教職課程』、『学術情報課程』の受講申込者（有料）以外は履修できない。
- ⑥ 同時限に開講している科目は、いずれかひとつを選んで開講番号を登録すること。
- ⑦ 同一時限に隔週で開講する科目を履修する場合は、同一時限に登録すること。
- ⑧ 2時限以上続けて開講する科目は授業開始時限にのみ開講番号を登録すること。
- ⑨ 集中授業科目は開講学期にあわせて、時間割外科目登録欄に開講番号を登録すること（学生ポータルサイトの「平成29年度集中授業スケジュール」を参照）。
- ⑩ 通年科目は前学期授業開始時限にのみ開講番号を登録すること。前学期の登録期間に必ず登録すること。後学期の修正期間には修正できません。
- ⑪ 上級学年配当科目は履修できない（他学科・他学部聴講の場合も同様）。
- ⑫ 他学科聴講又は他学部聴講の履修登録単位は、在学中30単位を上限とする。  
※可否にかかわらず、履修登録した時点で単位数をカウントする。同一科目を再履修した場合は、有料（1科目2,000円）であり、他学科聴講履修登録単位数にも再度加算されます。
- ⑬ 生物産業学部共通授業科目「中国語（一）・（二）、ロシア語（一）・（二）」を履修する場合は、いずれかひとつの語学を選択すること（履修が確定した時点で単位修得の有無にかかわらず、もう一方の語学科目は履修することができなくなる）。  
※応用中国語（一）・（二）は中国語（一）・（二）の単位を修得した者のみ履修できます。
- ⑭ 他学科・他学部聴講を希望する場合は、各学科の時間割を参照し、希望科目の開講番号を登録すること。
- ⑮ 必修科目でクラス分けのある科目は自動登録。なお、原則としてクラス変更は認めない（4ページの表1【クラスが指定されている科目】参照）。
- ⑯ 選択科目でクラス分けのある科目は、クラスを選んで開講番号を登録すること。クラスが指定されている科目は、指定されているクラスの開講番号を登録すること。なお、クラス分けがある他学科・他学部の科目を履修する場合も同様とする（4ページの表1【クラスが指定されている科目】を参照）。
- ⑰ 学部共通科目は自分の学科の開講番号を登録すること。他学科聴講を認めない（4ページの表2【総合教育・専門教育科目・学科基礎科目一覧表】参照）。
- ⑱ 実験・実習・演習科目は他学科・他学部聴講を認めない（5ページの表3【各学科配当 実験・実習・演習科目一覧】参照）。
- ⑲ 所属学科（配当学年を問わず）にある科目と同名の科目は他学科・他学部聴講を認めない。
- ⑳ 授業科目名は短縮して表示することがあるので注意すること（5ページ表4【授業科目名の短縮表示について】参照）
- ㉑ 学科等の名称を短縮して表示することがあるので注意すること  
（5ページ表5【学科等の名称の短縮表示・表示順番について】参照）。

### (3) 再履修科目について ～2年次生以降～

- ① 再履修について
  - ・再履修とは一度履修した授業科目のうち、不可（D）または未評価（F）になった授業科目を再度履修することです（他学科・他学部聴講科目、教職・学術情報課程の科目を再度履修する場合も同様）。
- ② 再履修の登録について
  - ・履修登録する科目が再履修科目であるかどうかは、各自学生ポータルサイトの成績台帳で確認すること。
  - ・必修科目であっても、**再履修の場合は自動登録されません**ので、必ず自分で履修登録をすること。
  - ・**授業の出席状況に関係なく履修が確定した時点で再履修料の支払い義務が発生する**ので、注意して登録すること。
- ③ 再履修料の納入について
  - ・再履修登録料は1科目2,000円です。
  - ※再履修有料例外科目を除く全授業科目について再履修料がかかります。

再履修有料例外科目（無料）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別講義(一)～(四)</li> <li>●卒業論文</li> <li>●教育実習ⅠⅡ</li> <li>●博物館実習</li> <li>●原級学生の当該学年再履修科目</li> </ul>
---------------	---

#### [再履修料の納入方法]

1. 再履修科目を受講する学生は「再履修料証紙貼付用紙」を学生ポータルサイトからダウンロードしてください。
  2. 学生教務課カウンター前「証紙券売機」で「再履修料2,000円」の証紙を該当科目数分購入して「再履修料証紙貼付用紙」に貼付し、**5月24日(水)午後5時までに**学生教務課窓口へ提出してください。
- ※証紙は「再履修料2,000円」を購入してください。「再試験料」「各種証明手数料」などと間違えないように十分注意して購入してください。
- ※5月の再履修料納付期間には通年科目および前学期科目分を、10月の再履修料納付期間には後学期科目分を納付してください。
- ※在学中に納付金額の不足が発覚した場合には、その時点で納金することを義務づけます。
- ※既に納金した再履修料の過払い分は原則として返金しません。

**表1** [クラスが指定されている科目]

下表にない科目は本人がクラスを選択して履修登録してください。

対象学科	科目名	対象学年	履修登録方法	クラス	クラス分けの内容
生物生産学科	②情報基礎(一)・(二)	1年	自動登録	A	42217001～42217055
				B	42217056～
	②英語(一)・(二)	1年	各自で登録	A又はB	本人がクラスを選択
				A～D	初回講義のプレテスト終了後、学生ポータルサイトに掲示
アグロバイオ学科	②英語(三)・(四)	2年	自動登録	A～D	学生ポータルサイトに掲示
				A～C	初回講義のプレテスト終了後、学生ポータルサイトに掲示
	②英語(一)・(二)	1年	自動登録	A～C	初回講義のプレテスト終了後、学生ポータルサイトに掲示
				A～C	学生ポータルサイトに掲示
食品香粧学科	②英語(三)・(四)	2年	自動登録	A～C	学生ポータルサイトに掲示
				A～C	学生ポータルサイトに掲示
地域産業経営学科	②情報基礎(一)	1年	自動登録	A	42517001～42517055
				B	42517056～
		再履修者(2・3年)	各自で登録	A又はB	本人がクラスを選択
		再履修者(4年)	各自で登録	H	再履修クラス(担当:松村寛)を履修登録
	②情報基礎(二)	1年	自動登録	A	42517001～42517055
				B	42517056～
		再履修者	各自で登録	A又はB	本人がクラスを選択
				A	42517001～42517055
	②簿記(一)・(二)	1年	自動登録	B	42517056～
				A又はB	本人がクラスを選択
		再履修者・編入生	各自で登録	A又はB	本人がクラスを選択
				A～C	初回講義のプレテスト終了後、学生ポータルサイトに掲示
	②英語(一)・(二)	1年	自動登録	A～C	初回講義のプレテスト終了後、学生ポータルサイトに掲示
	②英語(三)・(四)	2年	自動登録	A～C	学生ポータルサイトに掲示

※全学科②英語(一)・(二)・(三)・(四)の再履修者は、原則として不合格となったクラスを各自が登録してください。

**表2** [総合教育科目・専門教育科目・学科基礎科目一覧表]

所属学科に配当されている科目と同名の科目は他学科・他学部聴講ができません。

学年	授業科目名	学年	授業科目名	学年	授業科目名
1	②フレッシュマンセミナー *	2	キャリアデザイン	2	生物産業ビジネス論(一)
1	②情報基礎(一)・(二) *	2	ビジネスマナー	3	生物産業ビジネス論(二)
1～2	特別講義(一) *	3	インターンシップ	1	選必修)コミュニケーション学・心理学
2	特別講義(二) *	1	②共通演習 *	1	選必修)宗教と人間
2～4	特別講義(三) *	1	基礎生物	2	選必修)倫理学
2～4	特別講義(四) *	1	基礎化学	2	選必修)文学・芸術
1	インターナショナル・スタディーズ(一)	1	基礎数学	1	選必修)日本国憲法
1	インターナショナル・スタディーズ(二)	1	文章表現	2	選必修)北方地域の歴史と文化
1	②英語(一)・(二)	1	②生物産業学概論	2	選必修)地域とビジネス
2	②英語(三)・(四)	1	②生物産業体験実習 *	2	選必修)生物産業経営史
3	英語リーディング(一)・(二)	1	バイオテクノロジー概論	1	選必修)化学
3	TOEIC英語(一)・(二)	3	人間と職業	1	選必修)数学
1	英会話(一)・(二)	2～3	スポーツの科学	1	選必修)生物学
1	中国語(一)・(二)	2～3	オホーツク学	1	選必修)地学
2	応用中国語(一)・(二)	1	現代環境論	2	選必修)統計学
1	ロシア語(一)・(二)	2	産業気象学	2	選必修)物理学
1	スポーツ・レクリエーション(一)・(二)	2	食品開発論		

[例:生物生産学科の学生は食品香粧学科配当の生物産業学概論を履修登録できない。]

\*印がついている科目は実験・実習・演習科目

地域産業経営学科の学生は「基礎化学」「基礎生物」が受講対象外科目のため、他学科聴講できません。



**表3** [各学科配当 実験・実習・演習科目一覧表]

実験・実習・演習科目は他学科・他学部聴講を認めない。

【総合教育科目・専門教育科目・学科基礎科目を除く→表2を参照のこと】

配当学科	学年	授業科目名	学年	授業科目名	学年	授業科目名
生物生産学科	1	①生物生産学実験(基礎編)	2	②基礎生物・化学実験(二)	3	③生物生産学特別実験・実習
	1	②生物生産学実習(一)	2	③生物生産学実験(応用編)	3	④生物産実学演習(一)(二)
	1	③基礎生物・化学実験(一)	2	④生物生産学実習(二)	4	⑤生物産実学演習(三)(四)
アクアバイオ学科	1	②アクアバイオ基礎実験(一)	2	③アクアバイオ基礎実験(二)	3	アクアバイオ専攻実験
	1	③オホーソク臨海実習(一)	2	④オホーソク臨海実習(二)	3	アクアバイオ演習(三)・(四)
	2	アクアバイオ演習(一)・(二)				
食品香粧学科	1	②有機化学実験	2	③微生物学実験	3	④食品香粧品産業学実習
	1	③分析化学実験	2	④生物化学実験	3	⑤香粧品製造学実習
	1	④食品香粧体験実習	2	⑤食品化学実験	3	⑥食品製造学実習
	1	⑤食品香粧学研究演習	3	⑥香粧機器分析実験	3	⑦衛生学実験
地域産業経営学科	1	④地域産業経営学実習(一)	2	⑤産業経営学実務演習(一)	3	⑥産業経営学実務演習(二)
	1	⑤基礎ゼミナール				
	2	⑥地域産業経営学実習(二)	2	⑦地域産業経営学ゼミナール(A)・(B)	3	⑧地域産業経営学ゼミナール(C)・(D)

[食品香粧学科]

学年	授業科目名	短縮授業科目名	学年	授業科目名	短縮授業科目名
1	食品香粧学研究演習	食品香粧研究演習	2	消化器と皮膚の生理学	消化器の生理学
2	生物資源の利用と加工	資源利用と加工	3	アグリフードシステム論	フードシステム論
3	食品香粧品産業学実習	食品香粧品産業学実習			

[地域産業経営学科]

学年	授業科目名	短縮授業科目名	学年	授業科目名	短縮授業科目名
1	地域産業経営学概論	地域産経学概論	3	ビジネスモデル戦略論	ビジネス戦略論
1	地域産業経営学実習(一)	産経経営学実習一	3	社会調査実習(一)	社会調査実習一
2	地域産業経営学実習(二)	産経経営学実習二	3	社会調査実習(二)	社会調査実習二
2	産業経営学実務演習(一)	実務演習一	3	戦略的マーケティング論	戦略的MKT
3	産業経営学実務演習(二)	実務演習二	2	地域産業経営学ゼミナール(A)	2年主ゼミ(A)
2	オホーソク産業実習	オホーソク実習	2	地域産業経営学ゼミナール(B)	2年副ゼミ(B)
2	ビジネス情報システム論	ビジネス情報論	3	地域産業経営学ゼミナール(C)	3年主ゼミ(C)
2	ビジネス情報ネットワーク論	情報ネットワーク	3	地域産業経営学ゼミナール(D)	3年副ゼミ(D)
2	地域活性化システム論	活性化システム論	3	アグリフードシステム論	アグリシステム論
2	地域ビジネスゲーム	ビジネスゲーム			

**表5** [学科等の名称の短縮表示・表示順番について]

学科等の名称を短縮して表示することがあります。また、表示する順番は以下のようになります。

表示順番	学科名等	短縮名	表示順番	学科名等	短縮名
1	生物生産学科	生産	5	全学共通科目	全学共通
2	アクアバイオ学科	アクア	6	教職課程	教職
3	食品香粧学科	食香	7	学術情報課程	学術
4	地域産業経営学科	産経			

**表4** [授業科目名の短縮表示について]

次の表に記載している授業科目は、短縮して表示することがあるので注意のこと。

[学部共通科目]

学年	授業科目名	短縮授業科目名	学年	授業科目名	短縮授業科目名
1	フレッシュマンセミナー	フレッシュマン	1	バイオテクノロジー概論	バイオテ概論
1	コミュニケーション学・心理学	心理学	2	英語リーディング(一)	リーディング1
1	スポーツ・レクリエーション(一)	スポレク1	2	英語リーディング(二)	リーディング2
1	スポーツ・レクリエーション(二)	スポレク2	2	TOEIC英語(一)	TOEIC1
1	インターナショナル・スタディーズ(一)	スタディーズ1	2	TOEIC英語(二)	TOEIC2
2	インターナショナル・スタディーズ(二)	スタディーズ2	2	北方地域の歴史と文化	北方文化
2	生物産業ビジネス論(一)	生物産業ビジ(一)	3	生物産業ビジネス論(二)	生物産業ビジ(二)

[生物生産学科]

学年	授業科目名	短縮授業科目名	学年	授業科目名	短縮授業科目名
1	生物生産学実験(基礎編)	基礎実験	3	生物資源保全学(一)	生物資源保全一
1	生物生産学実習(一)	生物生産学実習一	3	生物資源保全学(二)	生物資源保全二
1	基礎生物・化学実験(一)	生物・化学実験一	3	生物生産学特別実験・実習	特別実験・実習
2	生物生産学実験(応用編)	生物生産実験応用	3	生物産実学演習(一)	生物産実学演習一
2	生物産実学実習(二)	生物産実学実習二	3	生物産実学演習(二)	生物産実学演習二
2	基礎生物・化学実験(二)	生物・化学実験二	4	生物産実学演習(三)	生物産実学演習三
2	バイオケミストリー	バイオケミストリ	4	生物産実学演習(四)	生物産実学演習四
2	動物バイオテクノロジー	動物バイオテ			

[アクアバイオ学科]

学年	授業科目名	短縮授業科目名	学年	授業科目名	短縮授業科目名
1	アクアバイオ学概論	アクア概論	2	アクアバイオ学特別講義	アクア特別講義
1	アクアバイオ基礎実験(一)	アクア基礎実験一	3	アクアバイオ演習(一)	アクア演習一
1	オホーソク臨海実習(一)	臨海実習一	3	アクアバイオ演習(二)	アクア演習二
2	アクアバイオ基礎実験(二)	アクア基礎実験二	4	アクアバイオ演習(三)	アクア演習三
2	オホーソク臨海実習(二)	臨海実習二	4	アクアバイオ演習(四)	アクア演習四
3	アクアバイオ専攻実験	アクア専攻実験	2	水産と海洋の科学史	水産の科学史